

腎臓病と関節リウマチ 其の I

愛知医科大学
腎臓・リウマチ膠原病内科
野畑 宏信



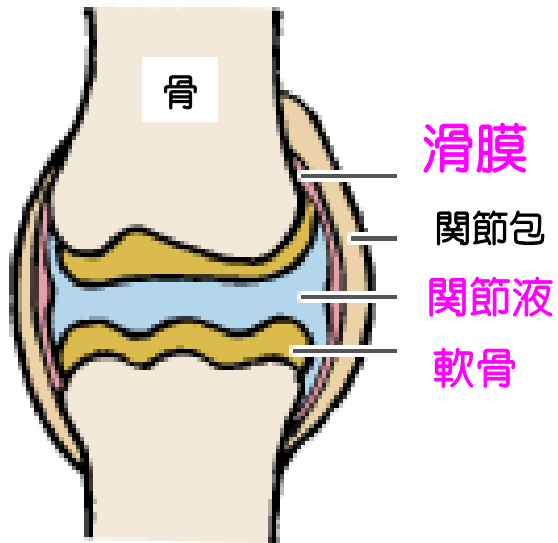
- 今回は、腎臓病と関節リウマチの関係についてお話します.
- まずは、関節リウマチとはどのような病気かを説明します.

関節リウマチとは

- 関節リウマチは、骨から異常が起こるのではなく、関節の内側にある滑膜に炎症（滑膜炎）を起こし、腫れや痛み、こわばりなどが出現し、関節破壊、関節の変形をきたす病気です。
- 原因は、まだ完全には分かっていませんが、免疫に異常が生じて起こる自己免疫疾患の一つと考えられています。
- 女性に多い。男性の約5倍。
- 発症年齢 30～50歳代に多いが、全年齢層で発症します。

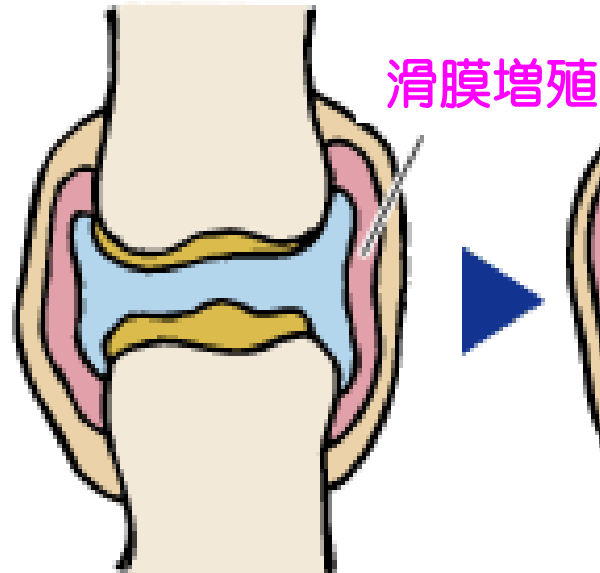
滑膜の炎症から始まる

正常な関節

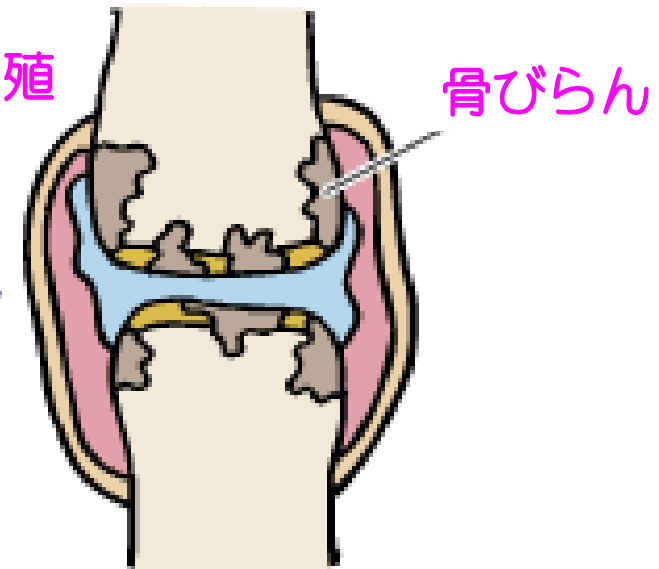


関節リウマチの関節

初期の状態



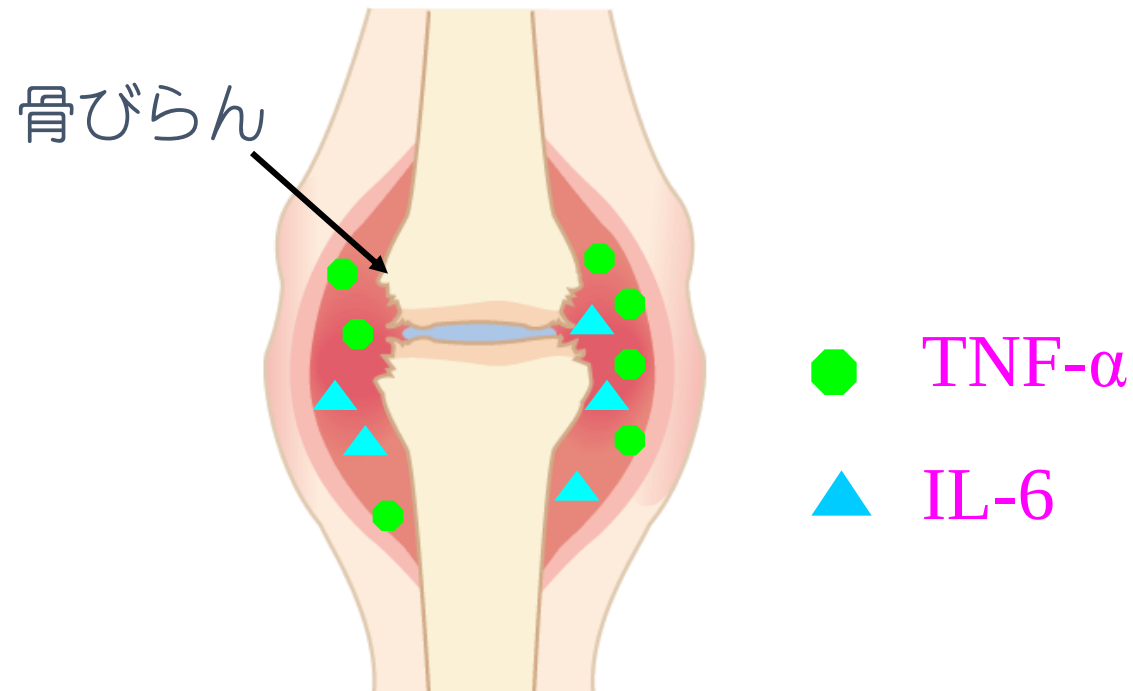
進行した状態



サイトカイン

関節の滑膜に炎症が起き、異常な滑膜増殖をおこす。増殖した滑膜が炎症性サイトカインを放出すると関節全体に炎症が広がり、軟骨や骨が破壊されて、関節が変形する。

サイトカインとは、免疫細胞から産生され、細胞同士で伝達し刺激する物質です。関節リウマチの治療はこれらを阻害することで炎症を鎮めます。



主な罹患関節とその頻度

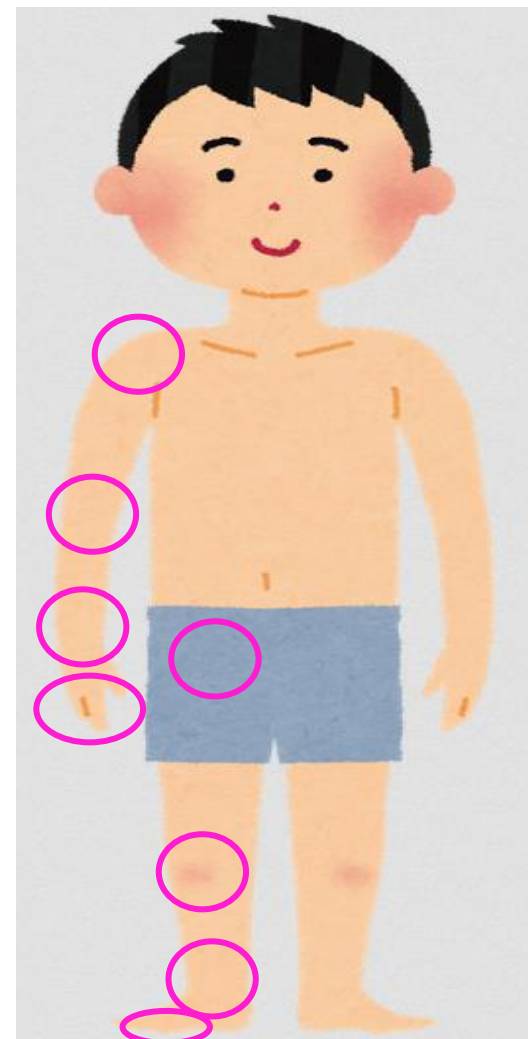
- 痛みが出やすい関節は、指や手首、肩、膝などに多いです。
- しかし、指でも指先の関節が罹患することはほとんどなく、指先だけが痛い場合は、変形性関節症（加齢性の変化）が疑われます。
- また、首も罹患することはありませんが、腰（腰椎）に関節リウマチが罹患することはありません。

肩 60%

肘 40%

手首 80%

指 90%



股関節 20%

膝 60%

足首 50%

足の指 40%

関節リウマチの骨のX線変化



正常

